



2018(平成30)年4月

新座市精神障害者家族会・やすらぎの会

〒352-0023 新座市堀ノ内3-4-11

No.212

社会福祉法人にいざ内

☎ 048-482-5155

**4月例会では** 4月15日(日)

野火止公民館 出席会員16名+1名

久しぶりの野火止公民館での例会でした。もっとお日様が出てくれるかと思いましたが、雲がどいてくれなくてスッキリしない天気でした。もうすぐ“やすらぎの会”の定期総会があります。またそのあと、日帰りバス研修で立川の昭和記念公園へ出かけます。6月に入ると、市の福祉フェスティバルが始まります。いろいろな行事が続きますがみなさま、ご協力をよろしくお願いいたします。

話し合いの中で、新座市では“グループホーム”(精神障害者も利用できる)は今どんな状況なのかといった質問がありました。それについては法人にいざの方とも連絡を取り合って情報を探りたいということになりました。

久しぶりに例会に見えたKさんの話。3か月自分が入院していたが、その間当人は、親がいないならいらないなりにちゃんと生活していて、「自立」できていた。かえって掃除なんかしっかりやっていて前よりきれいになっていくくらいとのこと。

また、家族がこういう病気だということを周り(近所)に知ってもらおうようにしているという方の話がありました。その一方、本人が「周りには言ってくれるな」という家庭もあり、それぞれ家族の状況もいろいろでした。しかしこの頃の流れとしては、近所にわかってくれる人を増やすことが、大事ではないかということでした。

今年度の活動の中に、以前お話をお聞きした高森信子さんの新作DVD[こんなときはどうする?回復力を高める 関わり方の基本](こんぼ亭)を会で購入して、みんなで鑑賞しながら勉強というのを入れたいねという提案がありました。

高森さんの「関わり方」のノウハウは非常にシンプルでしかも効果も高いと、評判です。例会の中で何回かに分けて鑑賞し、皆さんで学び合ひましょう。

みんなねっとから見解が出ています

「大阪・兵庫の現代版私宅監置とも言える  
相継ぐ事件は、他人事では決してない！」

例会時に東京新聞4月14日の社説が回覧されました。内容は「障害者の監禁 家族追い込まぬ社会に」というものです。私たちはこの二つの事件は、その追い詰められた心情も多少は理解できるだけに、とても切ない思いで受け止めていました。

全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)では、4月13日にこのことに対する見解を発表しています。全文はみんなねっとのホームページから見ることが出来ますが、概略を転載させていただきます。(紙面の都合で前半は割愛させていただきました)

今回の事件の背景には、精神的な疾患をもった際に、精神疾患としての認識を持ちにくく、すぐに保健医療につながりにくいこと、治療を受けることに対する抵抗感と、家庭に精神疾患を持つ人がいることを隠そうとする心理、そして病状が悪化した時に家族がとる手段がほとんどないことが、現在の精神保健福祉の問題点として挙げられます。

精神疾患患者は392万人となり、一般化した病気であるにもかかわらず、精神的な変調をきたしても、すぐに精神科等を受診する人はそれほど多くありません。

また、家族に精神疾患を患う人がいることを隠そうとする風潮は、改善されてきたとはいえ根強く残されています。これらの2つは、精神疾患に対する無理解や偏見からくるものです。

そして最終的に病状が悪化してしまった際に、病院に連れて行こうとしてもそうした手段が公的には整備されていません。家族が無理やり連れて行けば家族に対する不信となり、民間の移送サービスは高額な費用がかかります。また、治療が行われ病状が安定していても、福祉サービスが十分にいきわたっていない現状も明らかとなりました。

つまり、社会からの孤立・情報からの孤立・支援からの孤立という主に3つの問題点を背景として、精神疾患のある人の家族は自宅で看護するしかない状態に追い込まれています。

みんなねっとでの全国調査結果(2017年度調査、2018.3報告書発行)から見ると「監禁」という状態は決して許されるものではありませんが、重度の精神疾患がありながら日中特に何もすることがなく、家族の看護だけで生活している人が相当数いることが推測されます。

このような日本の現状を改善するためには、精神に不調が生じた際には早期に治療に関わるなどのメンタルリテラシーの普及、精神障害に対する無理解・偏見の克服、利用しやすく人権に配慮した医療、その後の福祉政策の充実とアクセシビリティの向上が求められます。

家族が精神障害を持つ人を監禁してしまうような見えない差別をなくしていくためにも、障害を持つご本人と家族の実情を共通理解に、必要な政策の手立てと地域での理解がすすむことに期待します。

## お知らせ

### 研修会

「1人ひとりの思いを大切に  
～訪問看護ステーション<KAZOC>の取り組み～」

日時 4月28日(土) やすらぎの会総会后 13:15～15:00  
会場 新座市市民会館2階 第1会議室  
講師 三ツ井直子氏(KAZOC 管理者/看護師)

KAZOCは練馬区大泉町を本拠に、訪問支援をしています。  
その目指すところや取り組みなどはみんなねっと2月号に、また、三ツ井氏の「語り合おう、つながろう、町の中で、日常の中で」が、みんなねっと4月号から1年間連載されることになっています。

### 日帰りバス研修

行先 国営昭和記念公園  
日時 5月23日(水) 8:45 市役所第3庁舎駐車場集合  
参加費 500円

緑いっぱいの広々とした公園で、思いっきり羽を伸ばし語り合いませんか? 公園内を一周するトレインもあります。  
お申し込みは4/28(総会の日)までをお願いします。

### 新座市福祉フェスティバル

今年の福祉フェスティバルは6月3日(日)新座市福祉の里を会場に開催されます。やすらぎの会では、例年通り赤飯を販売します。  
役割分担は5月の例会で決めたいと思います。  
ご協力よろしくお願いします。

### ハートネットTV再放送のお知らせ

4/16に放送された「どん底から奇跡の復活 松本ハウス 統合失調症」が再放送されます。  
人気お笑いコンビが統合失調症の悪化で10年間の活動休止、復活までの日々と、支えあいながらたどり着いた独自の笑いに迫る。  
4月23日(月)13:05～13:35 NHK Eテレ

## 【今後の予定】

04/19 (木)	施設運営委員会	10:00～12:00	(堀ノ内集会所)
04/20 (金)	埼家連役員会	10:30～15:00	(県障害者交流センター)
04/21 (土)	蒼空会講演会	13:00～15:30	(清瀬こぼろセンター)
04/25 (水)	福祉フェスティバル実行委員会	15:00～16:00	(市民会館会議室)
04/28 (土)	後援会・やすらぎの会定期総会	10:00～15:30	(市民会館会議室)
05/01 (火)	法人にいざ広報委員会	14:00～16:00	(支援センター)
05/09 (水)	法人にいざ後援会役員会	10:00～12:00	(堀ノ内集会所)
05/11 (金)	埼家連役員会 理事会		(県障害者交流センター)
05/13 (日)	5月例会	14:00～16:00	(野火止一丁目集会所)
05/23 (水)	日帰りバス研修	9:00～16:30	(昭和記念公園)

## 5月例会のお知らせ

日時:5月13日(日) 14:00～16:00

会場:野火止一丁目集会所

内容:これからの家族会の活動について、

提案・要望などの思いを気楽に話し合しましょう!

※そうめんを注文した方には代金引き換えでお渡します。

役員会 12:30～

### 家族相談日

5月の家族相談はお休みします

相談を希望される方は個別に相談員に連絡して下さい。

担当は 鶴飼(080-1053-7816)

矢野(090-9248-5343)

※ 埼家連の「心をつなぐ家族電話相談」もご利用ください

☎ 080-6685-2128(携帯)

相談日 毎週 月～木(10:00～12:00 13:00～15:00)